

# 吉江藩とは

正保2年（1645）福井藩主・松平忠昌ただまさの死去にともない、光通みつみちが家督かどくを相続。光通は52万5282石余の領知のうち、5万石を異母兄まさかつの昌勝まさかつに、2万5000石を異母弟まさちかの昌親まさあき（当時は昌明ないぶんと名乗る）に内分知しました。これにより昌勝は松岡藩、昌親は吉江藩を立藩します。

吉江藩の藩領は、丹生郡を中心に足羽郡・吉田郡・坂井郡・南条郡（以上、現鯖江市・越前町・福井市・坂井市・南越前町）に分散しており、陣屋は丹生郡吉江町（現鯖江市）に置かれました。

吉江藩の家臣団は、福井藩から出向した46人を核に整備され、この中には近松門左衛門の父・杉森信義も含まれています。

延宝2年（1674）光通が死去すると、幕命により昌親が福井藩主に就任。吉江藩は29年の短い歴史を終え、藩領は福井藩に吸収されました。

